



## 湖西地域方面での宿泊研修を実施しました!

「湖西地域方面の医療と歴史・文化を学ぶ」と題し、8月24日(月)～25日(火)の夏季休業期間を利用して認定NPO法人滋賀医療人育成協力機構と協同で宿泊研修を実施しました。里親登録学生を含めた本学学生15名を始めとして、自治医科大学生1名を含む、総勢27名での研修となりました。

### 1日目 NPO法人が運営する小規模多機能型居宅介護施設と、湖西地域の中核病院である高島市民病院を訪問

夜は、地域の先生方にご講演いただき、地域の方々との交流会を実施

### 2日目 朽木地区を見学

朽木唯一の医療機関である朽木診療所を訪問

滋賀医大

**NPO法人元気な仲間**  
(説明・見学)  
H27/4 にオープンした小規模多機能型居宅介護施設を見学させていただきました。その後、井ノ口地区の公民館で、法人設立の経緯や地域での取り組みのお話を伺いました。

**藤樹書院跡**  
(説明・見学)

**高島市民病院**  
(説明・見学)  
高山病院長から高島市民病院の湖西地域における役割や病院概要、今後の展望についてのお話を伺った後、院内を見学させていただきました。

**交流会**

【第1部】高島市健康福祉部健康推進課課長清水勝徳氏から「高島市の概要と地域医療について」、また、朽木診療所 所長倉田佳彦氏から「地域で学ぶ地域医療～朽木診療所に赴任して～」と題してご講演いただきました。  
【第2部】訪問先関係者の方々や里親など7名の方々に、それぞれのお立場からご意見をいただくなど、情報交換や交流の場となりました。

宿舎

**朽木溪流魚センター**  
(地域見学)

**興聖寺**  
(説明・見学)

**朽木診療所**  
(説明・見学)  
倉田所長の案内で診療所内の施設見学をさせていただきました。診察室では、通常の診察以外に、総合病院での検査結果などが診療所で閲覧できるインターネットシステムなどについてのお話を伺いました。



元気な仲間

特に印象に残ったのは、NPO法人「元気な仲間」さんです。住民を巻き込み全世代に向けた地域づくりに積極的に取り組んでおられました。絵に描いたような地域づくりに、他地域のモデルケースにできるのではないかと思います。(看護学科 4年)



高島市民病院



地域医療の最前線で医療に取り組んでおられる方々の話を聞くことができた。中でも「地域の崩壊が先か、はたまた医療の崩壊が先か。医療が崩壊すると地域が崩壊する。医療が先に崩壊してはならない。」という言葉が印象的であった。(医学科 2年)

高島市の職員の方は施設が足りないからといって作っていたら介護保険が足りなくなってしまうから在宅で頑張るというようなこともおっしゃっていました。足りないものは作ればいいという考えがいかに安易な考えであるかに気づきました。在宅医療の必要性を以前にも増して感じました。(医学科 3年)



交流会

学生の感想文より

高島市の医療や福祉を支えているのは、そこに住む人々の互いを思いやる優しさ、地域を愛する気持ちだと思います。(医学科 1年)

倉田先生には、朽木という地域の魅力、病院と診療所の違い、地域医療の楽しさなどを学生にもわかりやすく教えていただきました。田舎ならではの、診療所ならではの苦勞や悩みや戸惑いも率直にお話し下さった上で、それでも地域医療は楽しいと締めくくって下さったことに、自治医大の後輩としてとても勇気づけられました。(医学科 6年)

十分な機材や人材がない中でも、あらゆることをこなす豊富な知識、確かな技量、そして何より強い心意気が地域医療を行う医師にとって大切であるのではないかと感じました。(医学科 3年)



朽木診療所

高島は自然が美しいだけでなく、人と人とのつながりが深いと先生方がおっしゃっていたのがとても印象的でした。2日間で高島が好きになりました。(医学科 1年)

朽木という姓が、鹿児島島の島津家と並んで鎌倉時代から絶えることなく続いた二つの姓であることなどを聞かなか、その地域の人々が誇りに思っていることを理解することも地域医療を考えるうえで重要であるように思いました。(医学科 1年)



とうしょうじ 藤樹書院跡



朽木溪流魚センター・こうしょうじ 興聖寺

研修の様子は里親HPにも詳しく掲載しています!!

地域里親学生支援のホームページ (<http://satooya.shiga-med.ac.jp/>) をご覧ください!